

鍋島直正の側近・鍋島夏雲と

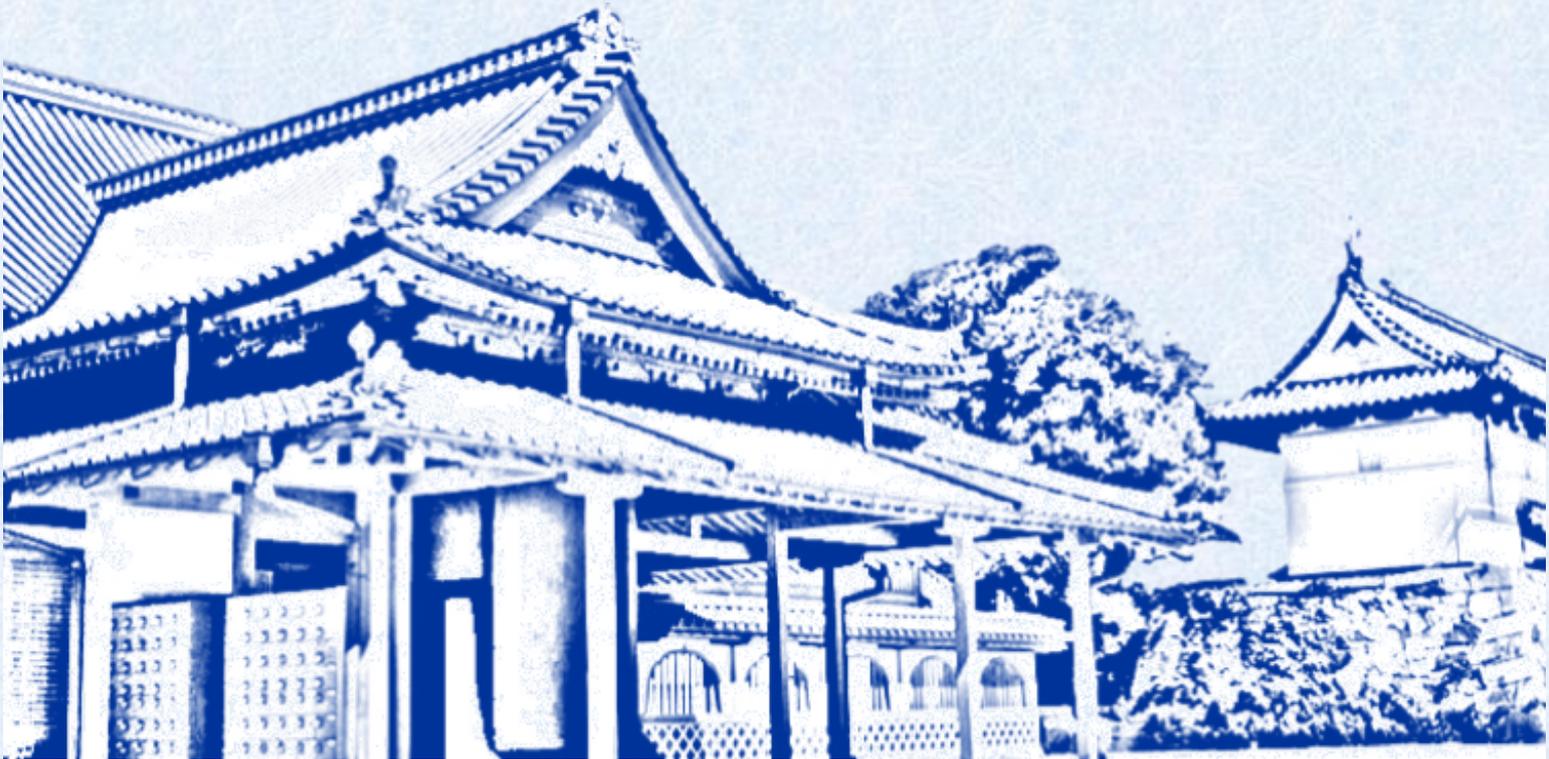
佐賀藩政について

日時:令和元年 6月8日(土) 13時30分～15時

会場:佐賀県立佐賀城本丸歴史館 外御書院

講師:伊藤 昭弘 先生

(佐賀大学地域学歴史文化研究センター准教授)



文政13年(1830)17歳の若さで佐賀藩主の座に就いた鍋島直正。佐賀藩の「着座」格・納富鍋島家の当主であった鍋島夏雲は、直正の藩主就任直後から「年寄役」として側に仕え、30年以上、主君の藩政改革を支え続けた。

本講座では、夏雲が残した「鍋島夏雲日記」や納富鍋島家の記録などを用い、夏雲の生い立ちや「年寄役」としての活動を紹介し、佐賀藩の藩政改革や幕末の動向について考える。

